障害者支援センターさあくる

「さあくる」の名称とシンボルマーク

名称と シンボルマーク は、利用者が考案しました。「さあくる」は、同じ目的を持つ仲間を意味し、ゾウが空を飛んでいる図はディズニーの ダンボ をイメージしています。ダンボは生まれながら大きすぎる耳を持っていたので、仲間はずれになっていましたが、練習を重ね、その大きな耳で空を飛べるようになり、サーカスで人気者になりました。欠点と思われる事も決して欠点だけではなく、不可能と思われることも、決して不可能ではないということを教えてくれています。手には幸せの象徴、四つ葉のクローバーを持っています。

「さあくる」のめざすところ

1．障がいがあっても、生まれ育った地域で活き活きと日常生活が送れることを支援し、日常の活動の拠点となること

2．障がいがあっても、自分らしさを表現でき、自分らしく働く場となること

3．地域の人々とのふれあい、出会い、学びあいを大切にし、豊かな社会生活を経験して社会の一員として成長していくことを支援すること

4．ノーマライゼーションの理念の発信基地となること

開所までのあゆみ

1993（平成 5）年	保護者の会「たんぽぽの会」結成
1997（平成 9）年	「たんぽぽの会」賛助会発足。会員 116 名
1998（平成 10）年 4 月	ホリスティックセンター裏の創造館を活動拠点にする
5 月	作業所開所準備。手づくりパンの作業を始める
12 月	菓子製造業の許可を取得し、本格的営業を開始する
1999（平成 11）年	県心身障害者就労促進事業の補助金により活動を始める
2000（平成 12）年 8 月	小規模通所授産所開設の学習のため、県庁担当課を訪問
2001（平成 13）年 9 月	町へ設立要望書提出
2002（平成 14）年	知的・身体・精神の 3 障がい統合の小規模通所授産施設として、設立決定。基本設計委託をする。整備計画提出
2003（平成 15）年 8 月	工事開始。2 月末、工事完了
2004（平成 16）年 3 月	開所。名称を「さあくる」と決定
2008（平成 20）年 4 月	障害者支援センターに名称変更

「さあくる」ではこんなことをしています

就労継続支援B型事業

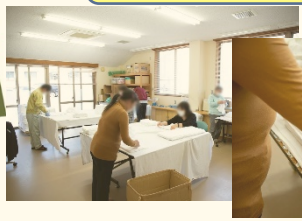
年齢や体力などの面で雇用契約を結んで働くことが困難な方が、軽作業などの就労訓練を行うことができる福祉サービスです。

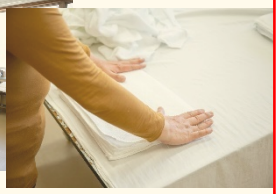
パン作りと販売

石鹸づくり

衣類のリフォーム

リネンの荷作り





ゴム内職

生活介護

入浴・排せつ・食事等の介護、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行う福祉サービスです。

利用定員　就労継続支援B型　１９人
　　生活介護　６人
営業時間　8:00～17:00　※この時間以外でもご相談ください
定休日　土日祝日、年末年始
送迎　生活介護のご利用者は対応します

イベント
・地域行事への出店（パン販売
・お楽しみ会（グラウンドゴルフ、バーベキューなど）
・絵手紙教室（毎月）
・野菜づくり
・さあくるまつり（秋）
・一日旅行（年1回）

〒731－2323
広島県山県郡北広島町川小田10075番地5